



江別のみなさん、こんにちは。
4月です。春ですね～。
北海道の4月はまだ少し春遠しと感ずますが、早いところでは桜が咲きますね!
この冬の雪で、お家も傷んでいるかも知れません。外を一回りしてみてもどうでしょうか?
気になるところがありましたら一声おかけください。

東京防災へ
防災準備を始めましょう!!

代表取締役社長 石崎 昭仁

耐震補強の必要性?

今冬始まりの降雪量は多かったですが、2月始めまでは平年を下まわっていました。しかし2月末の大雪で最終的には平年を大きく上まわってしまいました!。気温的には昨年と比較するとやはり温暖化の影響でしょうか?、平均気温は1.7℃ほど高めの様でした。昨年が-5.7℃、今年が-4.0℃と言う状況です。気象庁のHPで江別の平均気温などの比較ができますので、ご参考にされては?と思います。降雪の記録は、<https://ebetsu-doboku.site.ktaiwork.jp/>で確認できます。記録によると、昨年より今年の降雪量は多い様です。4月になると暖かくはなりますが、まだまだ朝晩は冷え込みますので、ヒートショックには十分注意が必要です。

江別地区の降雪量

●平均気温は12月から2月までの3ヶ月の平均比較です。

さて能登半島地震発生から4ヶ月目に入ります。思いの外、断水の影響が大きく、復旧工事が進んでいない現状です。過疎化が進むとインフラの整備も遅くなり、必要な耐震化工事も遅れていきます。メディアでは色々と意見を述べるコメンテーターの方がいますが、自然が相手の事ですので思う様には進まないのが現状です。今回は初期活動としてあまり報道されていませんでしたが、自衛隊の皆様は早い段階で救助・復旧・その他の支援活動に参加されていました。本当に心強い限りです。一時期、自衛隊は必要がないと規模縮小など、矢面に立たされた時期もありました。しかし自衛隊の皆様がいるからこそ、災害時には安心していられると言う事も事実です。

私たち建築業者は、災害に強い家創りを・・・と心掛け、耐震性の高い住まいをご提供しております。これからの住まい創りは耐震等級2以上で、できれば等級3の住まいをおすすめしたいと思います。長期優良住宅は耐震等級2以上(条件あり)が必須条件で、今後の制度変更を見据え、等級3をおすすめ致します。耐震等級を上げると、地震保険も少しお安くなります。(保険の種類により変動)等級3だから倒壊しないではなく、非常に倒壊しづらくなり、地震が収まってから避難が可能となります。命が一番です。下図は熊本地震(震度7を記録)の際に、住宅がどのくらいの損傷を受けたか?を調査した表です。

■熊本地震における木造住宅の建築時期別の損傷比率 出典:建築学会によって実施された益城町中心部における全数調査より

損傷ランク	V(破壊) 倒壊	IV(大破) 全壊	III(中破) 大規模半壊	II(小破) 半壊	I(軽微) 一部損壊	無被害
旧耐震基準 ~1981年6月	214棟 (28.2%)	133棟 (17.5%)	373棟 (49.1%)	39棟 (5.1%)		
1981年6月 2000年5月	76棟 (8.7%)	85棟 (9.7%)	537棟 (61.2%)	179棟 (20.4%)		
2000年5月 2000年6月	7棟 (2.2%)	12棟 (3.8%)	104棟 (32.6%)	196棟 (61.4%)		
新耐震基準 2000年6月 等級3	0棟 (0%)	0棟 (0%)	0棟 (0%)	2棟 (12.5%)	14棟 (87.5%)	

概念図

旧耐震基準(昭和56年以前)の住まいの崩壊、損傷が多い事がわかります。2000年6月以降建築の建物については被害も大幅に減少しています。耐震等級3の建物については、サンプル(建築棟数)も少ないのですが、住み続ける事が可能な状態である事がわかります。

住まいの耐震化はなかなか難しく、場合によっては膨大な費用がかかります。ある一定の基準に基づき耐震化を行います。補助金対象については昭和56年5月31日以前に着工した建物の様です。まずは平面図をお持ちになり、市役所の建築課にご相談され、費用など検査までの流れをお聞きすると良いでしょう!!。耐震化には現在は色々な補強パーツが販売されています。あまり建物に負荷をかけずに耐震化できる様にしたいものです。倒壊しなければ、避難も可能です。建物の損傷が少なければ、生活も可能です。昭和56年頃に建築された建物にお住まいの方は、検討の価値あります。

耐震評価サンプル

●評価ソフト:木野ソフトN(一般診断法)で評価検討
●対象物件:旭トステム社パンチくんにて検討

現状の耐震評価: 評点X1.01 評点Y0.86

補強後の耐震評価: 評点X1.01 評点Y1.02

耐震補強の壁

耐震補強の評価について
下の表のように、上部構造評点で判定します。判定内容は、大地震が発生した時に建物がどうなるかと想定されるか、です。

上部構造評点	判定
1.0以上	倒壊しない
0.7以上~1.0未満	倒壊する可能性がある
0.7未満	倒壊する可能性が高い

施工例

自分の身を守る → 揺れが収まってから行動 → 火元を確認 → 出口を確保 → あると本当に便利な物

今回の地震ではこの段階で家が倒壊してしまいました

基本は身を守り安全を確保してから避難する事が必要です。今回の地震でも課題になったのが水、寒さ、トイレ、防寒対策が今後の大きな課題です。出来る限りですが、万が一の為に準備をしたいものです。

ポータブルストーブ、カセットコンロ、モバイルバッテリー、充電機

- ★生活用品
- 大型ビニール袋は、給水袋やトイレの袋としても利用可能です。生活スタイルに合わせて、必要な物を用意しましょう。
 - 生活用水・トイレ用水
 - 持病の薬類
 - 救急箱・常備薬
 - ティッシュペーパー
 - トイレ用ペーパー
 - ウェットティッシュ
 - 生理用品
 - 使い捨てカイロ
 - ライター
 - ゴミ袋、大型ビニール袋
 - 簡易トイレ
 - マスク
 - ラテックス手袋
 - 懐中電灯
 - 乾電池
 - 携帯電話の予備バッテリー
 - 消毒用アルコール等
- ★震災を経験された方のご意見で重要と感じた物
- 水
 - カセットコンロ・カセットボンベ
 - 充電式などのラジオ
 - ビニール袋
 - スリッパ類
 - 食品包装用ラップ
 - 簡易トイレ
 - 防寒用具・毛布等
- ★簡易トイレの用意は、今回の地震で再認識され、大きな教訓となりました。是非用意したい物品です。
- 建物が無事であれば、電気をなんとかする事により、生活をおくる事が可能になります。全てとは行きませんが、できる事から、準備をする様におススメ致します。

土地のご紹介! (建築条件付き)

- 所在地:江別市新栄台51番地の2~ ●その他:建築条件付き
- 近隣施設 ■■■
- 食料品: コープさっぽろ 1.6Km / イオン 2.3Km
 - 日用品: DCMホームマック 1.6Km
 - 学校: 小学校: 対雁小学校 1.5Km / 中学校: 中央中学校 0.9Km
 - 病院: 友愛記念病院 0.43Km / 公的機関: 江別市役所 2.7Km
 - その他: 見晴台郵便局 1.5Km
 - 交通: JR野幌駅 2.9Km / バス停(中央バス): 新栄台 0.4Km

販売済

案内Map